

Local Use of Bamboo for the Conservation of the Regional Landscape Surrounding Bamboo Forests

栗田, 融
Faculty of Design, Kyushu University

<https://doi.org/10.15017/17128>

出版情報 : 九州大学, 2009, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

目次

第1章	研究の視点と意義および目的	1
1-1	研究の視点と意義	1
1-1-1	地域景観および地域景観の保全の基本的な捉え方	1
1-1-2	竹林を取り巻く地域景観の保全に資する 地域住民による竹の利用可能性の検討意義と課題	5
1-2	研究目的	13
1-3	研究の構成	14
第2章	研究方法	16
2-1	大分県における竹に関する歴史的側面の把握に対する調査	16
2-2	大分県における竹に関する量的側面の把握に対する調査	16
2-3	ヒアリング調査	17
2-4	大分県における竹林の立地状況の把握に対する調査	18
2-4-1	竹林の分布および面積調査	18
2-4-2	竹林の立地する傾斜度、建物・集落から竹林までの距離、 道路から竹林までの距離の把握	18
2-5	アンケート調査	20
2-5-1	アンケート調査項目	20
2-5-2	アンケート調査方法	23
第3章	竹利用の取り組みの変遷にみる地域住民と竹との関わり	25
3-1	大分県における竹に関する歴史的側面の把握	25
3-2	大分県における竹に関する量的側面の把握	29
3-2-1	大分県における竹に関する量的特徴	29
3-2-2	大分県における竹林の未利用状況の把握	31
3-3	大分県における竹林の規模および分布の把握	34
3-4	大分県における竹に関わる事業の把握	36
3-5	考察結果	38
第4章	立地特性からみた地域住民が関わりやすい竹林の条件	40
4-1	大分県における竹林の立地状況の把握	40
4-1-1	大分県における竹林の立地する傾斜度	40
4-1-2	大分県における建物・集落から竹林までの距離	40
4-1-3	大分県における道路から竹林までの距離	41

4-2	大分県における竹林の利用対象者の検討	41
4-3	竹林の立地特性からみた地域住民を含む人の関わりやすさ	43
4-4	地域住民を含む人の関わりやすさからみた立地特性による 竹林の関与タイプの設定	45
4-5	地域住民が関わりやすい竹林の条件	45
4-6	考察結果	47
第5章	地域住民による竹の利用を促す条件	48
5-1	地域住民による竹の利用状況の把握	48
5-1-1	地域住民による竹の利用実態の把握	48
5-1-2	地域住民による竹の利用方法の把握	50
5-1-3	地域住民による竹の利用時の課題の把握	52
5-1-4	地域住民による竹の利用方法と利用時の課題との関係	54
5-2	地域住民による竹を利用しやすい方法	56
5-3	地域住民による竹の利用を促す条件	57
5-4	考察結果	58
第6章	地域住民による竹の利用に期待される成果と地域特性および活用母体との関係	59
6-1	地域特性の分類	59
6-2	地域住民による竹の利用に期待される成果の把握	64
6-3	地域住民による竹の利用に期待する成果と地域特性および活用母体との関係	68
6-4	考察結果	72
第7章	竹林を取り巻く地域景観の保全に資する地域住民による竹の利用可能性	73
7-1	地域住民による竹の利用機会における活用条件の整理	73
7-2	地域住民による竹の利用機会としての活用パターンの設定	74
7-3	竹林を取り巻く地域景観の保全に資する地域住民による竹の利用可能性	77
	補註および参考・引用文献	80
	図表リスト	85
	アンケート資料	88
	謝辞	90